

事業紹介

■政令指定都市先進地“浜松市”視察研修を実施(2月19日～20日)

平成22年3月の合併特例期限が迫るなか、まさに、熊本市の政令市実現に向けて、これからが正念場があります。当協議会においても、これまで以上に地域を挙げての推進活動が求められています。

今回の視察先である静岡県浜松市においては、平成17年2月、浜松商工会議所と関係商工会の連携により「浜松市政令指定都市推進市民協議会」が発足し、平成19年3月までの約2年間、講演会、要望活動、市民の意識啓発活動などを通じて積極的に推進運動を展開されています。そこで、当協議会が熊本市の政令指定都市が実現するよう効果的に活動していくことを目的として、浜松市での視察研修を実施しました。



..... 視察研修の主な内容

政令指定都市移行への歩みと現状について

研修初日は、まず浜松市役所を訪問。研修に先立ち、飯田 浜松市副市長より、「政令指定都市は来るべき地方分権、道州制を見据えた際、都市の拠点性向上に最も有効な手段。子や孫、将来に対して、合併特例という目の前のチャンスを絶対に逃してはならない。若い世代の自由な発想を最大限に活かし、行動に移すことが重要」と歓迎と激励の挨拶をいただき、各担当者との質疑応答を行いました。

◆政令市移行までの歩みについて

Q 推進市民協議会の活動を振り返って非常に効果的に感じた活動(事業)や、もう少し工夫の余地があったと感じる点は？

A 住民への「草の根活動」が最も効果的であった。「政令市」のイメージ戦略では行政が気付かない部分で持ち前のアイデアを十分発揮して頂き、大変感謝している。また、「キリンビール政令市缶&ピン」の発売、経済界の商業活動を通じた周知活動(名刺へのシール貼付、車両へのステッカー貼付)、のぼり旗、懸垂幕の設置などが効果的であった。



◆政令市移行後の影響、効果について

Q 「政令指定都市というブランドが活かされた！」と思われる事例があれば。

A 中心市街地の核であった百貨店が経営破綻し空洞化が進む中で、**ビックカメラが駅前出店したのは政令市効果**だと感じる。当市では、シティープロモーションも取り組んだばかりであり効果はこれからと思われる。



政令指定都市推進市民協議会の活動について

続いて、同市民協議会の事務局として中心的役割を担った浜松商工会議所を訪問。金原宏始理事をはじめ、各担当者との意見交換を行いました。

Q 年間予算の使い道は？

A PRグッズの作成に充当。市民協活動の主目的である**住民への周知**に重点をおき、制作・配布計画を作成して実施した。

Q 予算執行にあたり市役所や他団体からの意見は？

A 構成団体から会費を取っておらず予算執行における阻害要因はなかった。**市役所は民間の意思決定のスピード、自由な発想に期待して予算執行権を委譲しており、行政(市役所)と民間(市民協)の役割分担が明確で活動に集中することができた。**

また、2日目は、行政区の役割と区の運営について、田中文雄浜松市企画課長などを訪問。現況などを聴き研修を終了しました。

【視察参加者：熊本市政令指定都市推進協議会 副会長 米丸淳一 他5名】

熊本市の合併・政令指定都市に向けた動き

■最新 合併協議会開催状況

益城町 平成21年 3月30日 第6回 熊本市・益城町合併協議会

城南町 平成21年 3月27日 第5回 熊本市・城南町合併協議会

植木町 平成21年 3月31日 第5回 熊本市・植木町合併協議会

■市の事業紹介

- PR新聞広告を3月28日(土)に掲載。(熊本日日新聞)
- 3月末からCMを放映。
- 4月からラッピング広告バス・電車が街を走ります。

■ロゴマーク・キャッチコピー決定!!

デザインコンセプト

ロゴマークについて

前向きな思い、元気、意欲、期待をあおる英語動詞「GO」をデザイン化しています。

コントラストがはっきりとした、情熱(赤)と秩序(青)を使用することで、政令指定都市実現をイメージしています。

キャッチコピーについて

誰の心にも響くよう、躍動感、期待感、決意、強い意志をストレートに表現。

政令指定都市実現への思いを伝えるコピーになりました。



■ポスター・のぼり旗の作成

会員の皆さまに掲示、設置をお願いすることがあります。ご協力よろしくお願いいたします。



ポスター(300枚)



のぼり旗(150枚)

※イラストはイメージです



■PRグッズの作成

政令指定都市推進協議会を市民に周知するため、今後、各種イベント等での配布を予定しております。ご要望があれば、事務局までお問い合わせください。



☆ウエットティッシュ



☆ハンドタオル



☆クリアファイル



☆シール・ステッカー



☆ピンズバッジ

※写真はイメージです



■懸垂幕を設置

鶴屋百貨店様の壁面に懸垂幕広告を設置しました。(2月1日～)

トピックス

——— 現在、熊本市が合併協議を進めている町の紹介をします! ———

●空の玄関口 益城町

熊本県のほぼ中央北寄りに在り、熊本市の東隣りに接しています。立地条件の優位性などから、空の玄関口である熊本空港や、熊本産業展示場(グランメッセ熊本)など多くの施設があります。町の東部から南部にかけては九州山脈系に属する山地で、城山、朝来山、船野山、飯田山の四峯が連なっており、北部一帯は益城台地と称される畑地が広く展開しています。河川はすべて緑川流域加勢川水系に属し有明海へ注ぎ、中央平坦部は水田が整然として穀倉熊本平野の一環を形成しています。

名物いろいろ・・・太秋柿、市だご、すいか、メロンなど

Pick UP 「市だご」・・・町の伝統行事・三月の初市につくられるお団子で、モチ米を小豆あんでくるんだもの。素朴な美味しさが人気の郷土名物です。

益城町

■人口 32,782人
■世帯数 10,549世帯
(平成17年国勢調査)